



(写真右上から時計回りに)「緑のダム」ともいわれるブナ林／1951年に再建された現在の大山寺本堂／木谷沢散策道の清流／大神山神社奥宮の石畳道は、牛馬市が盛んだっころに整備されたといわれる／大山は県内屈指の星空スポット



水木しげるロード

大山

三徳山

鳥取砂丘

アクセス

電車 JR名古屋→(新幹線)→JR岡山→(特急やくも)→JR米子→(日交バス)→大山寺停(約5時間)

車で 一宮IC→(名神高速道路→中国自動車道)→落合JCT→(米子自動車道)→米子IC下車(約410km)

グルメ② 大山Gビール

大山の天然水を使って仕込んだ地ビールで、ヴァイツェンとピルスナー(各450円)は地ビールの世界大会で1位を取った逸品。「ガンパリス」(伯耆町丸山)で楽しめます。



くらしと地域のフリーメディア

ショッパー Shopper

お出掛けガイド

企画・制作／中日新聞広告局

グルメ① 大山おこわ

ハレの日に食されてきた伝統料理。鶏肉やクリなどをもち米に入れて蒸しあげた一品は、この地区のソウルフードです。大山館(大山町大山)などで味わえます。750円。



鳥取県は、環境省の全国星空継続観察において、いわゆる「星の見えやすさ」で全国1位になるなど、星空が自慢。大山エリアもご多分に漏れず、「星取県」を名乗る同県にふさわしい星空が広がります。

「登山、おいしい水、地ビール…、夏は楽しみが尽きません」「子どもからお年寄りまで楽しめるのも魅力です」とは、今回アテンドを務めてくれた同県西部観光工課の遠藤公亮さんと内藤賢司さん。さらに、開山1300年に合わせたイベントもすでに行われているとのことなので、この夏に早速訪れてはいかがでしょうか。

開山1300年を前に注目高まる

だいせん

夏の鳥取・大山へ!

鳥取県西部に位置する、中国地方最高峰の大山(1709m)。古来より山岳信仰が盛んであったこの山に、地藏菩薩(ぼさつ)を祀る大山寺が開創されて来年で1300年を迎えます。百年単位の節目に注目が高まる名峰の、多彩な魅力を楽しむ、そんな夏の休日の提案です。

鳥取県西部に位置する、中国地方最高峰の大山(1709m)。古来より山岳信仰が盛んであったこの山に、地藏菩薩(ぼさつ)を祀る大山寺が開創されて来年で1300年を迎えます。百年単位の節目に注目が高まる名峰の、多彩な魅力を楽しむ、そんな夏の休日の提案です。

鳥取県西部に位置する、中国地方最高峰の大山(1709m)。古来より山岳信仰が盛んであったこの山に、地藏菩薩(ぼさつ)を祀る大山寺が開創されて来年で1300年を迎えます。百年単位の節目に注目が高まる名峰の、多彩な魅力を楽しむ、そんな夏の休日の提案です。

大自然を目の当たりにすると、すがすがしい気持ちになるものですが、山全体が国立公園の大山では感動も加わります。例えば麓からの眺め、西側の伯耆(ほうき)町からの山容は「伯耆(ほうき)富士」と呼ばれ、独立峰として佇んでいます。牛たちが草をはむ裾野の風景は、期待通り牧歌的。夏の太陽を雲が隠し影を落としても、山肌を覆う緑は、なお鮮やかです。また、大山町から望む通称・北壁は尾根つたいの急峻な断崖も、夏は約2kmに渡るむき出しの岩肌さえ涼しげに見えます。

飲料メーカーのミネラルウォーターのCMの舞台になるなど、名水の里として知られる大山の水を育んでいるのは、言うまでもなく雄大な自然。特に標高800〜1300mに西日本随一の規模で広がるブナ林は、保水力が高く腐葉土層に吸収された雨や雪を地面にゆっくり浸透させて清水を生み出す、いわば大山の恵みの源です。このブナ林の鑑賞は旅のハイライトの一つで、車なら道にせり出したブナのトンネルをくぐり抜けるドライブを。木谷沢散策道では入り口付近に車を止め、清水が流れる林の中まで歩を進めてみて。夏は登山も欠かせません。アルピニスト向けのコースもありますが、夏休みは子どもや登山初心者にもお勧めの往復約6kmの「夏山登山道」へ。五合目辺りまでのブナやケヤキの林道、一気に視界が開ける六合目、急登な八合目までを抜け、国の特別天然記念物のダイセンキヤラボク群落を通る山頂へのアタックは、ひとかどの登山家気分になることもできるでしょう。

清水を育むブナ林と絶景が楽しめる登山道

大山の魅力に触れる夏の小旅行。最後は、開山1300年の中心となる大山寺周辺です。寺の山門への参道には旅館などが建ち並び、坂の途中に足湯も。本堂から少し離れた所にある大山寺の支院・圓流院では、108枚もの妖怪天井画を見ることが出来る他、日本遺産に認定された大山牛馬市の成り立ちを吉島潤承館長が紙芝居で伝えていきます。

大山寺山門から約700mの石畳の参道を上つてたどり着くのは、大山の古い呼び名を冠した大神山(おおがみやま)神社奥宮。国の重要文化財の社殿、日本一長いといわれる自然石の石畳道もまた、大山の歴史の一部です。

だいせん

アクティビティで大山を体感!

変化に富んだ地形の大山では、アクティビティも充実。五感を駆使して満喫しましょう。

高地からマウンテンバイクで駆け下りるダウンヒルサイクリング。景色だけでなく、頬をなでる空気の温度の変化も醍醐味(だいごみ)です。シャワークライミングは、飛び散る水しぶきを浴びながら清流の中を進みます。参加者同士で協力し合うのも喜びです。料金など詳細は共に「森の国」(大山町赤松)電話0859-53-8036)まで。

絶景ポイントもいっぱい

難所をクリアして達成感を味わおう


